

鳥取県立公文書館報

第24号
(平成26年度)

鳥取県立公文書館

目 次

公文書館の概要

1 設 置 の 目 的	1
2 機 能	1
3 組 織	1
4 平 成 2 6 年 度 予 算	1
5 平 成 2 6 年 度 事 業 計 画	2
〔 公 文 書 担 当 〕	2
(1) 引継ぎ	
(2) 整理・保存	
(3) 特定歴史公文書等の利用促進	
(4) その他	
〔 県 史 編 さん 室 〕	3
(1) 新鳥取県史編さん委員会等の運営	
(2) 調査研究	
(3) 資料編・県史ブックレットの刊行	
(4) 普及事業	

平成25年度事業概要

〔 公 文 書 担 当 〕	
1 特定歴史公文書等の引継ぎ等の状況	4
(1) 鳥取県公文書等の管理に関する条例第2条第4号アにより引き継いだもの	
(2) マイクロフィルムにより複製、保存しているもの	
(3) 刊行物等の行政資料	
(4) 鳥取県公文書等の管理に関する条例第2条第4号ウにより寄贈、寄託されたもの	
2 整理・保存の状況	6
(1) 簿冊等紙資料の修復	
(2) 写真資料関係の補修及び電子化等	
(3) 複製本の作成	
(4) 書庫の管理	
3 利 用 の 状 況	6
(1) 鳥取県公文書等の管理に関する条例第13条に基づく利用請求の状況	
(2) 刊行物等の行政資料に対する申込み状況	
(3) 閲覧室等での一般の利用状況	
(4) 閲覧室等での県職員の利用	
4 展 示 の 状 況	7
(1) 常設展	
(2) 企画展	
5 そ の 他	7
(1) こちら「夏休み自由研究」協力隊	
(2) 鳥取短期大学講義	
(3) 岩美中学校学年道徳講演会	
(4) 県市町村公文書等管理連絡協議会	
(5) 公文書等資料の保存と管理について講師を派遣	
(6) 鳥取県立公文書館報第23号の発行	

目 次

〔 県 史 編 さ ん 室 〕

1	新鳥取県史編さん委員会等の運営	9
	(1) 委員名簿	
	(2) 会議	
2	各 専 門 部 会 の 活 動	10
	(1) 考古部会	
	(2) 古代中世部会	
	(3) 近世部会	
	(4) 近代部会	
	(5) 現代部会	
	(6) 民俗部会	
3	刊 行 物	11
4	普 及 事 業	11
	(1) 巡回講座	
	(2) 出前講座・依頼講演	
	(3) 県史だよりの発行	
	(4) ホームページの更新	
5	県 史 編 さ ん 協 力 員	12
	(1) 古文書解読	
	(2) 民具調査	

公文書館の概要

1 設置の目的

公文書館は、歴史資料として重要な県の公文書、その他の記録などを保存し、県民の利用に供するとともに、県政に関する情報を提供し、学術及び文化の発展と開かれた県政を推進することを目的としている。

2 機能

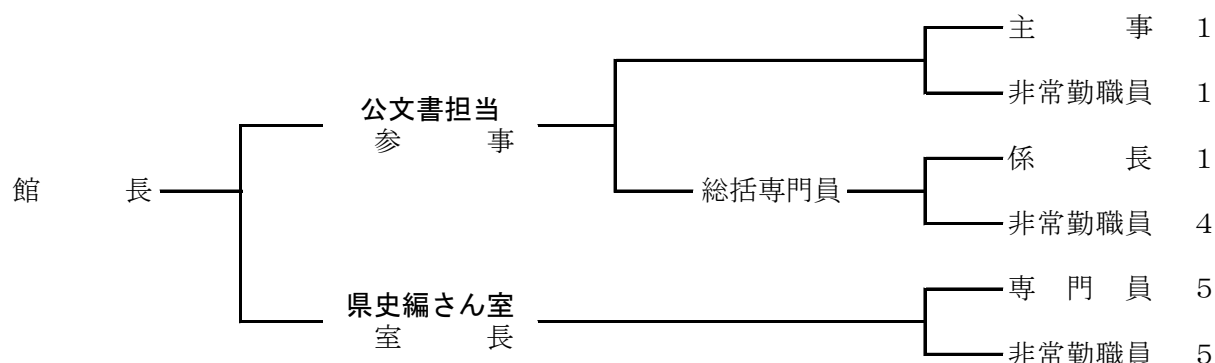
(1) 公文書の引継ぎ、整理及び保存並びに一般利用
鳥取県公文書等の管理に関する条例に基づき、歴史公文書等のうち、特定歴史公文書等として引き継いだものを整理・保存するとともに、一般利用に供している。

(2) 行政資料などの配架
行政資料・統計資料を自由に閲覧できるよう閲覧室に配架している。

(3) 情報の提供
県の施策その他県政に係る歴史的事実に関する調査研究を行い、その成果を企画展などを通じて情報提供している。

(4) 県史編さん
新鳥取県史を編さんし、順次刊行するとともに、ブックレットの刊行、講演会の開催等の普及事業も実施している。

3 組織（平成26年4月1日現在）



4 平成26年度予算

(単位：千円)

事業名	当初予算額
新鳥取県史編さん事業	49,643
親しまれる公文書館推進事業	1,084
歴史資料保存事業	4,890
公文書収集利用促進費	8,092
公文書館運営費	13,676
合計	77,385

5 平成26年度事業計画

〔公文書担当〕

(1) 引継ぎ

- ア 実施機関が作成した歴史公文書等について、保存年限満了後速やかに当館へ引き継ぐ。
- イ 引き継がれた簿冊について、早期に利用制限情報に関する審査を行う。
- ウ 所蔵簿冊の点検を行い簿冊目録の整備を図る。
- エ 電子文書の引継・公開方法を検討する。
- オ 書庫の狭あい化に備えて、当面の書庫管理の適正化を図るとともに、将来的な書庫スペースの確保についても検討する。

(2) 整理・保存

- ア 簿冊（公文書綴）等紙資料の補修
- イ 写真の電子化及び印画紙焼付け
利用度の高いものから順次電子化を行う。原板（ネガ等）は専用フォルダに収納するとともに、電子化されたデータを印画紙焼付け（L版）にして整理・目録化する。
- ウ 複製本の作成
類縁機関からマイクロフィルム撮影等によって収集した資料を複製本化する。
- エ 書庫の管理
IPM（総合的有害生物管理）を利用して管理すると共に、温湿度の管理を徹底させる。
※ IPMとは、従来のくん蒸剤による書庫及び資料管理に替えて、清掃による虫やカビの回避や、侵入ルートの遮断等予防に重きを置く方法。

(3) 特定歴史公文書等の利用促進

- ア 常設展
一階ロビーの「展示コーナー」において、公文書館が所蔵する資料を活用して、県政140年を紹介する「鳥取県のあゆみ」を常設展示する。また、調査研究の成果をタイムリーに紹介する小企画展を行う。
- イ 企画展
 - 小企画展「アーカイブズの世界」VI（仮称）
（会期：平成26年6月～7月（会期は30日程度））
 - 企画展「収藏品展—民間資料と公文書の邂逅（出会い）—」（仮称）
（会期：平成26年11月～12月（会期は30日程度））

(4) その他

- ア 鳥取県公文書等の管理に関する条例第26条及び鳥取県立公文書館管理運営要綱第27条に基づき、公文書館の事業概要等を掲載した『鳥取県立公文書館報』第24号を作成し、当館ホームページで公開する。
- イ 市町村公文書等管理連絡協議会
公文書の保存に関する啓発と情報交換を行うため、市町村職員等を対象として連絡会を開催する。（10～11月）

〔県史編さん室〕

- (1) 新鳥取県史編さん委員会等の運営
新鳥取県史編さん委員会及び専門部会(考古、古代中世、近世、近代、現代、民俗)を開催し、編さん事業の方針について審議する。
- (2) 調査研究
『鳥取県史』(昭和38～57年度)以後の発見や研究の発展のあった事項、また十分に取り上げられていない事項を調査研究する。
- (3) 資料編・県史ブックレットの刊行
資料編
『新鳥取県史 資料編 古代中世 古文書編』及び
『新鳥取県史 資料編 近世2 西伯耆』の2巻刊行予定。
県史ブックレット
考古分野・近代分野・現代分野・民俗分野で各1冊、計4冊刊行予定。
- (4) 普及事業
事業の成果を分かり易く提供する。
ア 出前講座等の開催
イ ホームページでの情報発信

平成25年度事業概要

〔公文書担当〕

1 特定歴史公文書等の引継ぎ等の状況(平成26年3月31日現在)

(1) 鳥取県公文書等の管理に関する条例第2条第4号アにより引き継いだもの
平成25年度は938件の引継ぎを行い、合計50,724件となった。

区 分		保 存 区 分	H24年度まで	H25年度	合 計
知事部局	本 庁	30年(旧永年)	30,937	86	31,023
		10年以下(旧有期限)	11,711	592	12,303
	地方機関	30年(旧永年)	1,581	38	1,619
		10年以下(旧有期限)	1,304	81	1,385
	小 計	30年(旧永年)	32,518	124	32,642
		10年以下(旧有期限)	13,015	673	13,688
知事部局以外	教育委員会 本庁	30年(旧永年)	2,089	0	2,089
		10年以下(旧有期限)	544	29	573
	県立学校	—	0	74	74
	公安委員会	—	0	2	2
	警察本部	30年(旧永年)	131	0	131
		10年以下(旧有期限)	0	2	2
	人事委員会	30年(旧永年)	266	0	266
		10年以下(旧有期限)	9	0	9
	監査委員	30年(旧永年)	16	3	19
		10年以下(旧有期限)	152	24	176
	労働委員会	30年(旧永年)	431	0	431
		10年以下(旧有期限)	3	0	3
	収用委員会	—	2	0	2
	病院事業管理者	—	5	1	6
	土地開発公社	—	0	6	6
小 計	—	3,648	141	3,789	
県議会	30年(旧永年)	605	0	605	
合 計			49,786	938	50,724

- ① 「鳥取県公文書等の管理に関する条例」(平成24年4月1日施行)に伴い、保存区分が見直され永年が30年となった。また、知事部局をはじめとする15機関が公文書館へ公文書を引継ぐ機関として位置づけられた。(表には引継ぎのあった機関のみを掲載)
- ② 知事部局本庁の10年・5年保存(旧有期限)文書については、平成23年度までは「鳥取県文書の整理、保管及び保存に関する規程」(H24.4.1廃止)に基づき、歴史資料として重要と判断したものを引き継いでいる。知事部局地方機関については、平成7年度から知事部局本庁と同様の方針で引継ぎを実施している。
- ③ その他の機関については、教育委員会本庁(平成8年度から)、人事委員会(平成10年度から)、労働委員会(平成10年度から)、県議会(平成10年度から)、監査委員(平成22年度から)それぞれ知事部局本庁と同様の方針で引継ぎを実施してきた。
- ④ 警察本部の30年(旧永年)については、現行警察制度以前(明治～昭和22年)の文書を平成16年度に引き継いだものである。

- (2) マイクロフィルムにより複製、保存しているもの
当館所蔵公文書等の不足分を補充するため、他機関等が所蔵する公文書を複製収集しており、また、当館所蔵の劣化した公文書及び県史編纂収集資料についても複製保存している。

(単位:コマ数)

区 分		平成24年度まで	平成25年度	計
欠 落 公 文 書 補 充	県内市町村関係	63,654	0	63,654
	島根県関係	58,181	1,200	59,381
	福島県移住関係	12,144	0	12,144
	北海道移住関係	18,789	0	18,789
	国立公文書館	477	0	477
	学校調査関係	569,615	0	569,615
	その他	7,640	0	7,640
	計	730,500	1,200	731,700
劣化公文書		85,355	0	85,355
県史編纂収集資料		108,493	0	108,493
合 計		924,348	1,200	925,548

- (3) 刊行物等の行政資料

(単位:冊)

区 分		平成24年度まで	平成25年度	計
行 政 資 料		30,672	950	31,622
統 計 資 料		30,603	106	30,709
合 計		61,275	1,056	62,331

- (4) 鳥取県公文書等の管理に関する条例第2条第4号ウにより寄贈、寄託されたもの

県史編さん関係原文書	379点
寄贈資料	約10,000点

2 整理・保存の状況

(1) 簿冊等紙資料の修復

劣化・破損の著しい簿冊や寄贈を受けた貴重資料等を脱酸、裏打ち、漉嵌め（リーフキャスト）等で修復してきており、平成25年度は簿冊等の修復を実施した。

区 分	平成24年度まで	平成25年度	計
簿 冊	15冊	2冊	17冊
図 面 類	606舗	0舗	606舗
簿冊以外の紙資料	6点	4点	10点

(2) 写真資料関係の補修及び電子化等

劣化・破損の著しい写真アルバムの補修とともに、マイクロフィルム、その他の写真フィルムの電子化を実施してきており、平成25年度は写真フィルムの電子化を行った。

区 分	平成24年度まで	平成25年度	計
写真アルバム補修	16冊	0冊	16冊
マイクロフィルム電子化	126,573コマ	0コマ	126,573コマ
写真フィルム電子化	34,365コマ	8,401コマ	42,766コマ

(3) 複製本の作成

原本保存と利用者の利便を図るため、原本やマイクロフィルム等を複製本化している。

区 分	平成24年度まで	平成25年度	計
複製本作成	1,473冊	28冊	1,501冊

(4) 書庫の管理

簿冊管理の適正化と書庫スペースの効率的活用を図るため、簿冊排架位置の確定と書庫情報の付与を行った。

3 利用の状況

(1) 鳥取県公文書等の管理に関する条例第13条に基づく利用請求の状況

区分	請求者数 (人)	請求件数 (件)	利用決定区分			不服申立 件数
			全部利用	部分利用	利用制限	
引 継 公 文 書	59	334	333	1	0	0
寄 贈 寄 託 資 料	131	2,615	2,615	0	0	0
合 計	190	2,949	2,948	1	0	0

※ 上記のほかに鳥取県公文書等の管理に関する条例第22条による鳥取県職員の利用請求が290人(677件)あり。

(2) 刊行物等の行政資料に対する利用申込み状況

区 分	申 込 者 数	件 数
一 般 県 民	153人	407件
県 職 員	12人	36件

(3) 閲覧室等での一般の利用状況

月別	来館者数	内 訳				
		資料・展示 閲覧のみ	相談・案内			写しの交付
			人	件	冊	
4 月	529	433	96	23	470	166
5 月	515	453	62	18	435	110
6 月	544	480	64	32	1,470	72
7 月	517	441	76	15	44	147
8 月	1,144	1,046	98	27	262	143
9 月	1,378	1,267	111	29	1,258	1,082
10 月	382	310	72	26	135	146
11 月	302	243	59	15	70	185
12 月	266	221	45	12	49	55
1 月	385	342	43	6	36	40
2 月	363	314	49	22	401	508
3 月	441	382	59	32	114	219
平成25年度計	6,766	5,932	834	257	4,744	2,873

(4) 閲覧室等での県職員の利用

年 度	利用者数 (人)	資料閲覧・貸出 (冊)
平成25年度	548	1,123

4 展示の状況

(1) 常設展

展示コーナーにおいて、県政140年を紹介する「鳥取県のあゆみ」を常設展示した。

(2) 企画展

ア 企画展

テーマ 「昭和40年の全国植樹祭」

概要 第64回全国植樹祭が5月26日に本県で開催されたことに合わせて、48年前の昭和40年5月に本県で開催された第16回大会に関する資料(簿冊、写真等)の展示と第64回大会の広報展示を行った。

会 期 平成25年5月17日(金)～6月16日(日)

入館者 666人

イ 特別企画展

テーマ 「鳥取大震災の記録」

概要 鳥取大震災発生から70年が経過するのに合わせて開催する企画展で、当館が収蔵する写真、公文書綴りを元に展示を行った。

会 期 平成25年8月23日(金)～9月22日(日)

入館者 1,887人

5 その他

(1) こちら「夏休み自由研究」協力隊(第6回)

夏季休業中の自由研究で「鳥取県政の歴史」を研究してみようと考えている小学生、中学生を対象に、館蔵資料を提供・指導助言を行って作品作りを行わせた。

期 間 平成25年7月27日(土)・28日(日)

参加者 6名

(2) 鳥取短期大学講義

内 容 教養科目「山陰論」－開けゆく山陰の近代－

日 時 平成25年11月5日(火) 13:00～14:30

受講生 約150名

講 師 伊藤 康(公文書館・総括専門員)

(3) 岩美中学校学年道徳講演会

内 容 『澤田廉三さんの生き方に学ぶ』
日 時 平成26年3月5日(水)
講 師 伊藤 康(公文書館・総括専門員)

(4) 縣市町村公文書等管理連絡協議会

目 的 公文書等の管理に関する法律第34条の趣旨に基づき、県や市町村が保存する公文書等の作成・保存・利用の現状と課題について意見交換し、望ましい公文書等の管理と保存方法について県・市町村担当者が話し合うとともに、担当者間の連携を図る。

日 時 平成26年1月29日(水)

場 所 県立公文書館 会議室

内 容 演題「安芸高田市文書管理の取組についての報告と現状」

講師：藤井伸樹(安芸高田市総務部総務課・専門員)

報告「鳥取県の文書管理」(公文書館職員)

意見交換

館内見学(希望者)

参加者 10人

(5) 公文書等資料の保存と管理について講師を派遣

ア 平成25年度文書管理主任研修会

目 的 文書審査の要点、簿冊・公印の管理、歴史資料としての公文書の取扱い等について理解を深め、公文書管理条例及びその関連規程に沿った適切な文書事務が行われるようにする。

日 時 平成25年11月13日(水)、18日(月)、19日(火)

場 所 鳥取県庁、中部総合事務所、西部総合事務所

内 容 「文書事務の手引(改訂版)」データベースの利用について、公文書管理条例及び関連規程について、文書事務に関する注意事項、歴史資料としての公文書の取扱いについて

講 師 井上 加奈子(公文書館・係長)、野崎 喜代美(公文書館・専門評価員)

イ 平成25年度公文書等の管理に関する条例に基づく公文書の作成・保存・引継ぎに関する研修会

目 的 入庁1年目から3年目までの若手職員の公文書等の管理に関する条例及びその関連規程の基礎知識を深め、条例等に沿った文書及び簿冊の作成、さらには保存。引継が行えるようにする。

日 時 平成25年12月12日(木)、18日(木)、19日(金)

場 所 鳥取県庁、西部総合事務所、中部総合事務所

内 容 公文書管理条例及び関連規程、文書・簿冊の取扱い、歴史資料として残す公文書の判断基準について(鳥取県庁開催時のみ公文書書庫見学)

講 師 廣東 宣明(公文書館・参事)

参加者 延べ46名

(6) 鳥取県立公文書館報第23号の発行

公文書等の管理の状況を公表するため、鳥取県立公文書館報第23号を作成し、平成25年5月公開した。

〔県史編さん室〕

1 新鳥取県史編さん委員会等の運営

「新鳥取県史編さん事業」の編さん方針等を審議するため、編さん委員及び各専門部会委員を委嘱し、会議を開催した。

(1) 委員名簿

平成25年度 新鳥取県史編さん委員

	氏名	現職
1	高田 健一	鳥取大学准教授
2	錦織 勤	鳥取大学教授
3	池内 敏	名古屋大学教授
4	岸本 覚	鳥取大学准教授
5	小山 富見男	鳥取敬愛高等学校長
6	坂田 友宏	伯耆文化研究会会長
7	末永 洋之	県総務部長
8	山本 仁志	県教育委員会次長

平成25年度 新鳥取県史編さん専門部会

	氏名	現職
(考古部会)		
1	高田 健一	鳥取大学地域学部准教授
2	根鈴 智津子	倉吉市教育委員会文化財課文化財係長
3	下高 瑞哉	米子市教育委員会文化課係長
4	松井 潔	鳥取県教育文化財団調査室長
5	中原 斉	むきばんだ史跡公園所長
(中世部会)		
1	錦織 勤	鳥取大学地域学部教授
2	日置 条左エ門	元鳥取県史編さん室常勤専門委員
3	秋山 伸隆	県立広島大学人間文化学部教授
4	末柄 豊	東京大学史料編纂所准教授
5	倉恒 康一	鳥取県経済産業総室産業振興室主事
6	石田 敏紀	鳥取県立博物館主幹学芸員
(近世部会)		
1	池内 敏	名古屋大学文学部教授
2	谷口 啓子	元県立公文書館非常勤専門員
3	山藤 良治	米子工業高等専門学校教授
4	山脇 幸人	倉吉市立図書館長
5	坂本 敬司	元県立公文書館県史編さん室長
6	来見田 博基	県立博物館主任学芸員
(近代部会)		
1	岸本 覚	鳥取大学地域学部准教授
2	田村 達也	元県立公文書館専門員
3	奥村 寧子	あおや郷土館学芸員
4	白石 崇人	鳥取短期大学准教授
5	畔上 直樹	上越教育大学准教授
(現代部会)		
1	小山 富見男	鳥取敬愛高等学校長
2	喜多村 理子	鳥取短期大学講師
3	佐々木 孝文	鳥取市教育委員会文化財課専門員
4	鬼嶋 淳	佐賀大学文化教育学部准教授
5	石田 敏紀	鳥取県立博物館主幹学芸員
6	西村 芳将	文化政策課課長補佐
(民俗部会)		
1	坂田 友宏	前伯耆文化研究会会長
2	靄 理恵子	吉備国際大学社会学部准教授
3	喜多村 正	元島根大学法文学部教授
4	喜多村 理子	鳥取短期大学講師
5	福代 宏	県立博物館主任学芸員
6	原島 知子	県教育委員会文化財課文化財主事

(2) 会議

平成25年	5月20日	第1回近世部会（於：公文書館）
	5月23日	第1回古代中世部会（於：公文書館）
	6月10日	第1回近現代合同部会（於：公文書館）
	7月5日	第1回考古部会（於：公文書館）
	7月25日	第1回新鳥取県史編さん委員会（於：公文書館）
	9月2日	第1回民俗部会・調査報告会（於：西部総合事務所）
	10月10日	第2回近代現代合同部会（於：公文書館）
	10月21日	第2回近世部会（於：公文書館）
	10月23日	第2回考古部会（於：公文書館）
	11月6日	第2回新鳥取県史編さん委員会（於：公文書館）
	11月14日	第2回古代中世部会（於：公文書館）
平成26年	3月14日	第2回民俗部会（於：公文書館）

2 各専門部会の活動

(1) 考古部会

ア 遺物再整理

- ・ 12遺跡353点の遺物を実測。

イ 古墳測量

- ・ 小枝山12号墳（米子市淀江町福岡、全長54mの前方後円墳）・城山10号墳（米子市淀江町福岡・稲吉、全長62mの前方後方墳）の墳丘の3次元測量を業者委託で実施。

ウ 県外調査

- ・ 東京国立博物館が所蔵する鳥取関係遺物の調査を実施。

(2) 古代中世部会

ア 史料調査

- ・ 県内外に所在する鳥取関係中世史料の原本調査・撮影。

県内：鳥取県立博物館（鳥取市）、個人宅（鳥取市）、雲龍寺（鹿野町）、観音堂（八頭町）、大雲院（立川町）、三佛寺（三朝町）、鳥取市歴史博物館、倭文神社（湯梨浜町）、境港市史編さん室（境港市）

県外：東京大学史料編纂所、学習院大学史料館（東京都）、大阪城天守閣、毛利博物館（山口県）、鍋島報効会（佐賀県）、熊本大学附属図書館（熊本県）、個人宅（福岡県）、山口県史編さん室（山口県）、個人宅（山口県）、個人宅（群馬県）

イ 鳥取県関係古代中世史料翻刻文校訂事業

- ・ 資料編に掲載する史料翻刻文について、本文原稿（初校ゲラ）と文書写真を照合させて内容・文言のチェックを行う。
- ・ 調査委員8名で計2,332点を対象に実施。

ウ 「古記録編」活字資料集抽出事業

- ・ 既刊の日記類・記録類から因幡・伯耆および山名一族に関する記事を抽出。
- ・ 調査委員7名で約130冊を対象に実施。

(3) 近世部会

ア 史料調査

- ・ 資料編（西伯耆編）収録候補となる主要な近世史料の調査・撮影。

県内：鳥取県立博物館、米子市立山陰歴史館、尾崎家住宅（湯梨浜町）、米子工業高等専門学校（米子市）、日野町歴史民俗資料館（日野町）、大山町教育研究所（大山町）、個人宅（伯耆町）

県外：個人宅（神戸市）、京都大学（京都市）、個人宅（前橋市）、埼玉県立熊谷図書館（熊谷市）

- ・ 資料検討会の実施（資料編掲載候補史料の選定、2回）

イ 資料編掲載候補史料の解読・入力

ウ 「家老日記（控帳）」の解読

- ・ 県史編さん協力員と共に実施。
- ・ 全289冊解読完了

(4) 近代部会

ア 資料調査（現代部会と合同で実施）

- 資料編収録候補となる主要な近現代史料の調査・撮影。選定シートの作成。
県内：鳥取県立博物館、鳥取市歴史博物館、境港市史編纂室、尚徳公民館（米子市）、船岡小学校（八頭町）、個人宅（智頭町）、智頭町中央公民館、鳥取県立公文書館（旧多里役場文書等）、鳥取市議会事務局、個人宅（鳥取市）、北栄町役場北条庁
県外：東京大学史料編纂所（東京都）、外務省外交資料館（同）、防衛省防衛研究所（同）、国立公文書館（同）、国立国会図書館（同）、JICA横浜移住資料館（神奈

(5) 現代部会

ア 資料調査（近代部会と合同で実施）

- 資料編収録候補となる主要な近現代史料の調査・撮影。選定シートの作成。
県内：鳥取県立博物館、鳥取市歴史博物館、境港市史編纂室、尚徳公民館（米子市）、船岡小学校（八頭町）、個人宅（智頭町）、智頭町中央公民館、鳥取県立公文書館（旧多里役場文書等）、鳥取市議会事務局、個人宅（鳥取市）、北栄町役場北条庁
県外：東京大学史料編纂所（東京都）、外務省外交資料館（同）、防衛省防衛研究所（同）、国立公文書館（同）、国立国会図書館（同）、JICA横浜移住資料館（神奈

(6) 民俗部会

ア 民俗調査

- 地域民俗調査（大山山麓）、テーマ別民俗調査（7テーマ）を実施。
- 調査委員18名で調査実施（延べ91日間）。

イ 民具調査

- 北栄町歴史民俗資料館の調査を週1回程度実施。
- このほか、倉吉博物館、三朝町みささ美術館、個人宅（倉吉市）、大山町教育研究所、伯耆町日光公民館、日野町歴史民俗資料館の所蔵民具の調査を実施。

3 刊行物

県史ブックレット（A5判、各500円）

刊行

- 第13巻『鳥取県の妖怪』（小林光一郎委員執筆、H25. 8. 12刊行、124頁、1,500部印刷）
- 第14巻『武家の女性・村の女性』（谷口啓子委員執筆、H26. 3. 24刊行、116頁、1,500部印刷）

頒布先

公文書館、県庁県民課、東部振興監八頭会計分室、中・西部総合事務所地域振興局、日野振興センター日野振興局地域振興課、今井書店（県内7カ所）、鳥取県立博物館、鳥取市歴史博物館、文化の友（ブックヤードチャプター1, 2, 3）、定有堂書店、鳥取雑貨堂、東京アンテナショップ、琴浦町日韓友好資料館・韓国物産館（第5巻のみ）、国立ハンセン病資料館（第2巻のみ）、ふるさと鹿野（第4巻のみ）、満蒙開拓平和記念館（第7巻のみ）、境港市観光協会（第13巻のみ）

4 普及事業

(1) 巡回講座

期日	会場	講座名（担当者）・テーマ	参加数
6/30 (日)	鳥取県立 博物館講堂	新鳥取県史巡回講座 「褒められた人びと」「古代中世の因伯の交通」 (岸本覚委員・錦織勤委員)	33
7/14 (日)	米子 コンベン ション センター	新鳥取県史巡回講座 「褒められた人びと」「古代中世の因伯の交通」 (岸本覚委員・錦織勤委員) 「里海と弓浜半島の暮らしー中海における肥料藻と採集用具」 (樫村賢二専門員)	45
11/15 (金)	まなび タウン とうはく	新鳥取県史講演会 「自治体編さん事業とその成果の活用 民俗学者の視点からー」 (福田アジオ元神奈川大学教授)	40
3/21 (金)	境港市 しおさい会館	新鳥取県史巡回講座 「鳥取県の妖怪」 (小林光一郎調査委員 他)	30

(2) 出前講座・依頼講演

期日	会 場	講座名(担当者)・テーマ	参加数
6/14 (金)	鳥 取 市 文化センター	尚徳大学歴史講座(岡村) テーマ：名和長年と後醍醐天皇	144
6/30 (日)	大阪キャッスル ホ テ ル	第50回鳥取西高近畿同窓会総会(岡村) テーマ：毛利VS織田の鳥取城攻防戦とその歴史的意義について	80
10/5 (土)	プ ラ ザ 佐治記念ホール	「さじ谷ばなしフォーラム2013」パネリスト(檜村) テーマ：昔話が伝えるもの!	180
10/19 (土)	ヒルトンプラザ ウエスト(大阪)	2013年度後期RECコミュニティカレッジ(岡村) テーマ：鳥取城をめぐる織田vS毛利の戦い	30
11/3 (日)	倉 吉 淀 屋 付 属 屋	わいわい淀屋(檜村) テーマ：伯州綿の主要生産地一弓浜半島の暮らしと里海	20
11/13 (水)	鳥取第1地方 合同庁舎	教養講話(湯村) テーマ：鳥取県の古代文化	30
11/17 (日)	倉吉市田内自治公民 館及び向山6号墳	歴史講座(第3回)(湯村) テーマ：「向山6号墳」を現地で”見る・学ぶ”	20
12/8 (日)	湯梨浜町立図書館	湯梨浜町立図書館活用講座(岡村) テーマ：織田・毛利の戦いと東郷池周辺	70
1/18 (土)	北 栄 町 図 書 館	図書館土曜講座「郷土史入門」(檜村) テーマ：北栄町の民具資料について	14
2/13 (木)	河原町老人 福祉センター	河原町みたき大学(岡村) テーマ：地域の歴史に学ぶ	50

(3) 県史だよりの発行

- ・ 記事内容 歴史・民俗に関する小記事など
- ・ 発行形態 ホームページ版と紙版(A4判4ページ、県内図書館などへ配布)
- ・ 発行頻度 月1回

(4) ホームページの更新

- ・ 記事内容 ①巡回講座、ブックレット刊行の案内など(随時更新)
②史料調査のレポートなど(最近の活動から)(随時更新)
③県史だより(月1回更新)

5 県史編さん協力員

県民参画による県史づくりを推進するため、歴史・民俗に興味のある方に協力員(ボランティア)として新鳥取県史編さん事業に参加してもらっているもの。

(1) 古文書解読

- ・ 近世は「家老日記」、「寺社方日記」、「因府歴年大雑集」他、近代は「島根県史料」を解読し、パソコン入力したデータを提出。
- ・ 3地区ごとに毎月月例会を開催。

地区	日時	場所	協力員
東部	第1土曜日午前	県立博物館	40名
中部	第1日曜日午前	倉吉歴史民俗資料館	10名
西部	第1日曜日午後	米子市旧庁舎	14名

(2) 民具調査

- ・ 日野町歴史民俗資料館の収蔵民具の写真撮影及び名称・法量等をパソコン入力。
- ・ 月1回程度実施(協力員1名)

利用案内

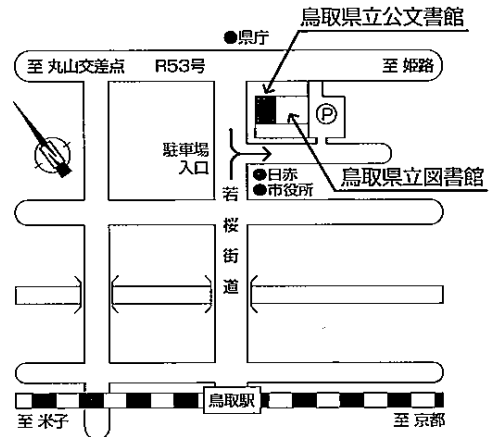
開館時間

●月～金曜日 9:00～17:00

休館日

- 日曜日、土曜日
- 国民の祝日及び振替休日
- 年末年始（12月29日～1月3日）
- 展示コーナーについては、年末年始及び月末に当たる場合を除き、日曜日、土曜日にも入館できます。

案内図



徒歩 鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ
徒歩20分

バス 鳥取バスターミナルより
湖山・鳥大線、賀露線など
「県庁日赤前」下車徒歩1分

鳥取県立公文書館報

第24号—平成26年度—

平成26年5月発行

編集・発行 鳥取県立公文書館

〒680-0017 鳥取市尚徳町101番地

電話 (0857)26-8160

ファクシミリ (0857)22-3977

電子メール kobunsho@pref.tottori.jp

http://www.pref.tottori.lg.jp/kobunsho